

未来のために、今できること。

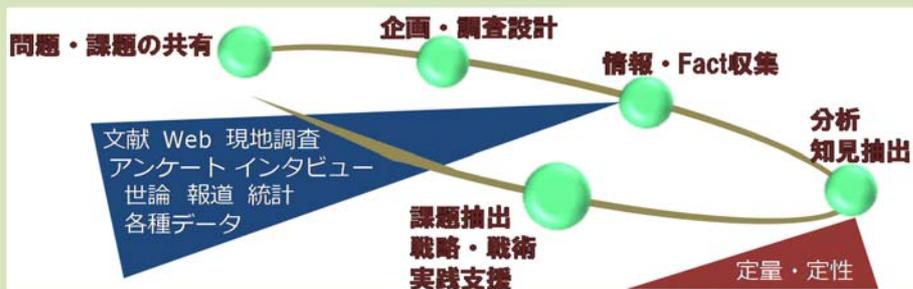


社会との良好な関係づくりを支援する 社会環境調査研究・分析・コンサルティング

Research & Consulting

技術と社会との関係の難しさを
正しく認識し、
よりよい関係づくりを目指す。

私たちの生活は科学技術の成果の上に成り立っています。しかし、科学技術には正負の両面があります。規制等の法的課題のクリア、リスクとの付き合い方、住民等との相互理解に基づく信頼関係の構築、科学者や供給者の社会的責任など、科学技術と社会との関係は単純ではなく、認識不足からの判断の誤りが思わぬ失敗を招きます。貴社とその技術をとりにくく環境を調査、分析し、正しく認識することが社会との良好な関係をつくる第一歩です。



多様なリサーチ手法、技術的専門性、社会に対する洞察力で
お客様固有の課題に答えます。

調査分析スキルと調査課題に関する専門知識を駆使して、お客様固有の課題に応えます。お客様の漠然とした問題意識からの課題の明確化、調査の企画・設計及び実施、分析、戦略立案を行います。エンジニアリング企業としての技術的専門性、事業会社としての社会経験による洞察力、各分野のエキスパートとの連携も強みです。

調査・情報収集

リサーチスキルと技術的専門性で的確に収集

- 社会調査（アンケート、インタビュー等）
- 文献調査（統計、報道等）
- 技術・学術情報、法令・規制調査
- 現地調査
- 調査の企画・実施支援・コンサルティング

コンテンツ作成

わかりやすく、適切に伝える

- 公開資料、説明資料の点検・評価・修正
- 専門的内容をわかりやすく伝える説明作成

幅広い対応領域

原子力・放射性廃棄物、放射線、化学、環境、エネルギー、製品安全、食品、医療、情報技術等の技術領域を得意とします。リスクマネジメント、法務・コンプライアンス、消費者保護など、技術と関連の深いテーマにも対応いたします。

分析・解析

データ・情報から有効な知見を抽出

- 統計解析、データ/テキストマイニング
- 試算・シミュレーション
- 社会心理学的分析
- ビジネスフレームワークによる分析

コンサルティング

社会との良好な関係づくりを支援

- リスクコミュニケーション支援
- 科学技術コミュニケーション支援
- 環境、健康、安全問題への対応

主な実績

情報・データ収集・分析

環境・エネルギー分野の研究動向、研究機関の情報収集・整理
 わが国における日常生活及び職業上のリスクの調査
 環境・エネルギー分野の世論の変遷の調査
 ネパール地震における地理空間情報の発信に関する調査
 福島第一原発事故に由来する放射線リスクに係わる社会状況の把握
 理解促進活動の視点等を組み込んだ研究開発方法論の検討
 将来エネルギー社会ビジョン検討のための基本情報収集・整理
 不連続な未来を洞察するためのスキャンニングマテリアルの作成
 環境・エネルギー等に関する現状及び将来予測データの収集・整理
 国内海外の感染症ダッシュボードに関する調査
 自然災害による水道施設の被害状況調査

ケーススタディ

除染の実施状況調査
 環境汚染を伴う災害後の回復過程における地域での問題解決事例の調査・分析
 環境問題に関するリスク・ガバナンスづくりの事例調査
 水素ステーションの建設に関連したリスクコミュニケーション事例の収集・分析
 福島における放射線リスクへの対応事例に関する調査
 リスクコミュニケーション研究及び実践の現状に関する分野横断的調査
 科学コミュニケーション研修及び教育に関する事例調査

アンケート実施・集計・分析・多変量解析、調査支援コンサルティング

原子力事業者に対する東海村住民のニーズの調査分析
 原子力防災に関するアンケート
 原子力人材確保に向けた就業意識調査
 高レベル放射性廃棄物の地層処分に係る意識調査
 後発医薬品情報収集支援事業
 幌延深地層研究センターを活用した地元住民等との相互理解のための収集意見分析
 高レベル放射性廃棄物の地層処分広報効果測定調査
 妊婦と家族の関係分析
 高齢者の実態調査報告書作成支援
 放射性物質の食品基準値に対する認知と行動に関するアンケート調査票作成

テキスト計量分析

東京電力福島第一発電所事故に係る報道・インターネットのテキストデータの分析
 東京電力福島第一発電所事故に係る電話相談・アンケートのテキストデータの分析
 被ばく相談電話問い合わせデータ処理
 放射線リスク低減とリスクコミュニケーションに関する活動の分析

グループインタビュー

原子力発電に関するグループインタビュー
 二酸化炭素の地中貯留に関するグループインタビュー

質的調査・分析

水道施設のダウンサイジングに関する調査
 事業者の法令遵守の取組支援調査
 放射線に関する対話の分析
 電波の安全性に関するリスクコミュニケーションの支援・評価
 学童保育施設運営に関するインタビューの分析

コンテンツ作成

確率論的リスク評価（PRA）をわかりやすく伝えるコンテンツ作成と評価
 小児の医療被ばくに関するリスクコミュニケーション資料の作成
 食品中の放射性物質に関するリスクコミュニケーションガイドラインドラフトの作成
 災害時における石綿飛散防止に係る取扱いマニュアル改訂等検討
 放射性廃棄物に関するリスクコミュニケーションのためのインターネットサイトの制作・運用

研修・説明会

電波の安全性に関する説明会の運営
 石綿飛散防止対策に係るリスクコミュニケーションガイドライン及び災害時マニュアル説明会
 リスクコミュニケーション講座の企画運営支援及び評価
 行政職員を対象としたリスクコミュニケーション研修
 水環境に関するワークショップ

法令調査

アンモニア及びアンモニア分解型水素ステーションに係わる法令・規則・条例等の調査

投稿、発表等

- 福島原子力発電所事故後の放射線リスク低減とリスクコミュニケーションに関する実践的研究活動の分析
 堀越 秀彦(ペスコ), 小野 恭子, 内藤 航(産総研) 日本リスク研究学会誌/29 巻(2019) 2 号
- 幌延深地層研究センターゆめ地創館および地下研究施設を活用したリスク・コミュニケーション
 大澤英昭, 野上利信, 星野雅人(JAEA), 徳永博昭, 堀越秀彦(ペスコ)
 日本原子力学会バックエンド部会 部会誌『原子力バックエンド研究』Vol.26 No.1, 2019
- 超深地層研究所計画における地域社会との共生に向けた活動から学んだ教訓— 手続きの公正さと分配的公正さの視点から—
 西尾和久(ペスコ), 大澤英昭(JAEA)
 日本原子力学会バックエンド部会 部会誌『原子力バックエンド研究』Vol.23 No.1, 2016
- 温暖化緩和技術としての CCS(※二酸化炭素回収貯留)の印象とリスク認知
 堀越秀彦(ペスコ), 桑垣玲子・篠原千晶(JANUS)
 日本リスク研究学会第 27 回年次大会講演論文集 Vol.27, Nov.29-30, 2014
- 東京電力福島第一原発事故後のリスクコミュニケーションの実践— 内部被ばく検査を受検した福島県民の意識 —
 古野 朗子・高下 浩文(JAEA), 徳永 博昭・堀越 秀彦(ペスコ)
 JAEA-Review 2014-022(日本原子力研究開発機構)
- 幌延深地層研究センターゆめ地創館を活用したリスク・コミュニケーションについて
 阿部 真也・片田 偉奈雄・星野 雅人(JAEA), 徳永 博昭・堀越 秀彦(ペスコ)
 JAEA-Review 2014-034(日本原子力研究開発機構)

会社概要

名称 株式会社ペスコ(PESCO Co., Ltd.)
 本社所在地 東京都港区東新橋 2-5-12 第一粕谷ビル 7F
 設立 1988(昭和 63)年 9 月 29 日、資本金 2,000 万円
 従業員数 127 名(令和 2 年 4 月現在)
 許可・登録 品質システム規格:ISO9001:2015(JIS Q9001:2015) 労働者派遣事業 派 13-309171

未来のために、今できること。

pesco